

## 山上皓研究班アンケート用紙のご紹介

長野英子

厚生労働省研究班『触法行為を繰り返す治療困難者が入院する施設の設備構造、人員配置、治療内容に関する研究』分担研究者代表＝山上皓・東京医科歯科大学難治疾患研究所教授）は罪を犯し、措置入院となった精神障害者の入院処遇実態を調べるアンケート調査を行いました。

調査にあたる山上教授によれば「調査結果を国民のコンセンサス確立に役立てて、（公的な専門病棟を整えて）精神病院の機能分担を図り、触法精神障害者の適切な処遇と再犯防止につなげて、精神障害者への社会の偏見をなくしたい」とのこと。

山上教授は率直に語っているが、この調査研究は特別専門病棟設置およびその内容の基礎資料になりそうです。どういう形でアンケートが行われたのか、そしてどのような結論に結び付けられるのか、たくさんの疑問点が浮かんできます。

多くの方に読んでいただき、率直なご感想を寄せていただきたいと思います。

これについてのご意見がある方は以下にメールをくだされば幸いです。

hanayumari@hotmail.com

厚生科学研究

「触法行為を繰り返す治療困難者が入院する施設の設備構造、人員配置、治療内容に関する研究」

(「精神病院等の設備構造及び人員配置の在り方に関する研究(主任 樋口輝彦)」の分担研究班)

○ 研究組織

- 分担研究者 山上 皓 (東京医科歯科大学難治疾患研究所教授)
- 研究協力者 長尾卓夫 (高岡病院院長)
- 岡江 晃 (京都府立洛南病院副院長)
- 浅井邦彦 (浅井病院院長)
- 岡田幸之 (東京医科歯科大学難治疾患研究所助教授)
- 西村秋生 (国立医療・病院管理研究所主任研究官)
- 吉川和男 (埼玉県立精神保健総合センター医長)
- 安藤久美子 (東京医科歯科大学特別研究員)

○ 研究目的

- ・触法行為を行った精神障害者の入院中の処遇の実態を明らかにし、検討を行う。

○ 研究内容

- ・全国の精神病院を対象として、精神保健福祉法第25条に基づく通報によって措置入院した精神障害者について、入院中の処遇や退院の状況に関する調査を行い、集計・分析する。
- ・触法行為を行った精神障害者が多数入院している国内の精神病院等を訪問し、治療環境の実態を調査する。

○ 研究期間

平成12年度～平成14年度(予定)

**施設調査・A票**

精神保健福祉法第 25 条の通報に基づく  
措置入院の患者の医療に関する調査 (A票)

- 記入要領**
1. 貴院の入院施設および措置入院患者についてうかがいます。
  2. 1施設につき本紙1枚の調査票をお使い下さい。
  3. 平成13年2月10日までに同封の封筒に入れてご返送下さい。

回答時現在の貴院の入院施設について、うかがいます	
所在地 (都道府県名)	都・道 府・県
現在の精神科の申請病床数	床
現在の精神科の入院患者数	人
隔離用の個室 (いわゆる保護室) の実数	床
過去3年間 (平成10年1月1日～平成12年12月31日) の 精神保健福祉法に基づく措置入院患者について、うかがいます	
3年間の措置入院患者の受入れ人数	のべ 人
そのうち第25条 (検察官通報) に基づく 措置入院患者の人数	のべ 人



該当者がいる場合は別紙  
**個別調査・B票**にご回答  
下さい。

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

# 個別調査・B票

## 精神保健福祉法第25条の通報に基づく 措置入院の患者の医療に関する調査 (B票)

### 記入要領

1. 過去3年間 (平成10年1月1日から平成12年12月31日まで) の措置入院のうち、25条通報のものだけを対象とします。
2. 1回の措置入院につき1冊の調査票をお使い下さい。
3. 期間中に同一人物が複数回措置入院した場合も、各入院につき1冊を使用して下さい。
4. 用紙が不足する場合には、お手数ですがコピーを作成してご回答ください。
5. 回答用紙の書式は「措置入院患者の定期病状報告書」に準じています。
6. とくに「入院時の問題行動ならびにその予測」の項目は措置入院決定時の診断書をそのまま転記してください。
7. 本調査は決して患者さん個人の特定をするものではありません。個人のプライバシーに深く関わると思われる内容についてはご配慮のうえご回答下さい。
8. 平成13年2月10日までに、施設調査・A票とともに同封の封筒に入れてご返送ください。

ケース	男 ・ 女 (入院時 歳)
措置年月日	平成 年 月 日
措置継続の有無	i. 継続中 ii. 解除済み (平成 年 月 日解除)

記入日 年 月 日

病名	1. 主たる精神障害		2. 従たる精神障害		3. 身体合併症	
生活歴および現病歴(今回の措置入院までの問題行動・触法行為)						
現在までの通院もしくは入院歴(記入欄が足りない場合は備考欄に引き続いてお書き下さい)	S・H	年	月	日	～	年 月 日 (当院 or 他院 / 外来 or 入院形態 )
	S・H	年	月	日	～	年 月 日 (当院 or 他院 / 外来 or 入院形態 )
	S・H	年	月	日	～	年 月 日 (当院 or 他院 / 外来 or 入院形態 )
	S・H	年	月	日	～	年 月 日 (当院 or 他院 / 外来 or 入院形態 )
	S・H	年	月	日	～	年 月 日 (当院 or 他院 / 外来 or 入院形態 )
問題行動 Aは入院時まで、Bは入院時予期(措置入院診断書参照)			入院時の病状または状態像			
1.殺人	A	B	I 抑うつ状態			
2.傷害	A		1.抑うつ気分 2.内的不穏 3.焦燥・激越 4.精神運動制止			
3.暴行	A		5.罪責感 6.自殺念慮または企図 7.睡眠障害			
4.脅迫	A		8.食欲障害又は体重減少 9.その他 ( )			
5.自殺企図	A	B	II 躁状態			
6.自殺			1.高揚気分 2.多弁・多動 3.行為心拍 4.思考奔放			
7.不潔	A	B	5.易怒性・被刺激性亢進 6.睡眠障害 7.誇大性 8.その他( )			
8.放火または奔火	A	B	III 幻覚妄想状態			
9.器物損壊			1.幻覚 2.妄想 3.させられ体験 4.思考形式の障害			
10.窃盗			5.著しく奇異な行為 6.その他 ( )			
11.侮辱			IV 精神運動興奮			
12.強盗			1.減衰思考 2.硬い表情・姿勢 3.興奮状態			
13.恐喝	A	B	4.衝動行為 5.自傷 6.その他 ( )			
14.徘徊	A	B	V 昏迷状態			
15.家宅侵入			1.無言 2.無動・無反応 3.拒絶・拒食 4.その他 ( )			
16.性的異常行動	A	B	VI 意識障害			
17.風俗犯的行動			1.意識混濁 2.(夜間)せん妄 3.もうろう 4.その他 ( )			
18.無断離院	A	B	VII 知能障害			
19.無銭飲食			A.精神遅滞 1.軽度 2.中等度 3.重度			
20.無賃乗車	A	B	B.痴呆 1.全体的 2.まだら(島状) 3.仮性 4.その他 ( )			
21.その他 ( )	A	B	VIII 人格の病的状態			
			A.人格障害			
			1.妄想性 2.衝動性 3.演技性 4.回避性 5.その他 ( )			
			B.残遺性人格変化			
			1.欠陥状態 2.無関心 3.無為 4.その他 ( )			
			IX その他			
			A.性心理的障害			
			1.フェティシズム 2.外・マゾヒズム 3.小児愛 4.その他 ( )			
			B.薬物依存			
			1.覚醒剤 2.有機溶剤 3.睡眠薬 4.その他 ( )			
			C.アルコール症			
			D.その他 ( )			

		病棟	i.主に開放病棟	ii.主に閉鎖病棟	iii.併用(同程度)
入院中の処遇の概要	隔離	.適用 (約 .多用 (約 .ときどき(約 .ほとんど不要	年間あるいは約 日/週 日/月)	年間あるいは約 日間	
	拘束	.適用 (約 .多用 (約 .ときどき(約 .ほとんど不要	年間あるいは約 日/週 日/月)	年間あるいは約 日間	
処遇上で特別な対応をされた点があればお書き下さい(専属の看護者をつけたなど)					
処遇上の問題点があればお書き下さい(やむをえず長期の拘束を要したなど)					
入院時と比較した現在あるいは最終診察時の病状		.寛解あるいは治癒 .増悪	.軽快 .その他( )	.不変	.変動
現在の処遇		I.入院継続中 .長期入院見込み      .転院・退院の見込み II.退院した .外来通院中      .家族のみ外来通院      .転院      .治療中断・終了      .死亡			
退院に際して問題となる(なった)事柄		.飲酒行為歴 .生活能力の程度 .居住所の確保 x.その他( )	.薬物乱用・依存歴 .就労問題 .単身者	.怠業・治療中断 .経済的問題 .家族の受入	
すでに退院した場合	退院事由	.退院	.転院	.無断離院	.死亡
	退院病状	.寛解あるいは治癒 .増悪	.軽快 .その他( )	.不変	.変動
	退院後の問題行動	.あり(具体例 ) .なし			
	退院後の状況についてご存知でしたらお書き下さい				
備考					
入院時の問題行動		.あり(次項の質問へ)		.なし(調査記入はこれで終了です)	

U-10-24; /:29PM; 西平実業部課長 ; 036992008 # 7/ 7

次の1~18のうち、該当する入院中の問題行動に○をつけて下さい。  
○をつけたものについては、その内容を記入例にしたがって回答してください。

問題行動の起し方	他害行為の対象				問題行動の頻度		その問題行動への対処								原因となった 中心的病状  下記の中から 3つまで選 びつけて ください。				
	他患者	病院職員	患者家族	その他	まれ	ときどき	計画的	衝動的	転室・転棟	転院・退院	個室の使用					身体拘束			
											連用	多用	ときどき	使用せず		連用	多用	ときどき	使用せず
(記入例) 暴行	✓				✓		✓		✓	✓			✓					3, 10	
1. 殺人																			
2. 傷害・暴行																			
3. 脅迫(好斯を含む)																			
4. 恐喝・強盗																			
5. 侮辱・暴言																			
6. 扇動																			
7. 自殺企図																			
8. 自殺																			
9. 放火または奔火																			
10. 器物損壊																			
11. 窃盗																			
13. 徘徊																			
14. 性的異常行動																			
15. 無断離院																			
16. 治療拒否																			
17. 院内規則違反																			
18. その他( )																			

病状の選択肢(多項目該当する場合には、主な症状を3つまで選択して下さい。)			
1. 抑うつ状態	2. 躁状態	3. 幻覚妄想状態	4. 精神運動興奮
5. 昏迷状態	6. 意識障害	7. 精神遅滞	8. 痴呆
9. 人格障害(素因性)	10. 人格変化	11. 性心理的障害	12. 薬物依存
13. アルコール症	14. その他( )		

調査票記入はこれで終了です。ありがとうございました。  
貴重な資料ですので、もう一度記入もれがないかをご確認下さい。